

もりやまエコパーク「守山市環境学習都市宣言」の具現化に向けて

守山市 環境生活部 環境センター 係長 高木 寛

2021（令和3）年9月竣工の「もりやまエコパーク環境センター」は、滋賀県の南西部に位置する守山市の可燃ごみ、不燃・粗大ごみ、資源物を処理する施設です。

本施設は、ごみ処理の機能と併せて、付帯施設として一体的に整備された「もりやまエコパーク交流拠点施設」と連携し、市民の環境学習の活動拠点となっています。

ここでは、新たな環境センターの建設を契機に制定された「守山市環境学習都市宣言」の理念に基づく環境学習の取り組みを中心に紹介します。

もりやまエコパークの概要

もりやまエコパーク（環境学習都市宣言記念公園）（写真1）には、環境センターをはじめ、温水プールや温浴施設、環境学習室等を備えた交流拠点施設と遊びの広場、バラ園、グラウンドゴルフ場があり、市民の環境・健康・交流の活動の場として、幅広い世代の方に利用されています。今後、現在ある施設に加えて、各種スポーツ施設が順次完成する予定です。

なお、住所を「守山市環境学習都市宣言記念公園1番地」としているのが特徴の一つです。



写真1 もりやまエコパーク（完成予想図）



写真2 守山市環境学習都市宣言

「守山市環境学習都市宣言」とは（写真2）

市民（自治連合会）からの提案に基づき制定されました。「市民一人ひとりが守山の環境について、さらに理解を深めるとともに、学び、考え、行動すること」とする市民の強い決意が宣言文に謳われています。

「環境センター」の特徴

1日のごみ処理規模が、71 t (35.5 t × 2 炉) と全国的にも小規模な施設でありながらごみ焼却時に発生する熱エネルギーを利用した発電（発電効率 17 %）

と併せて、隣接する交流拠点施設の温水プールへ熱供給（熱利用率 1.5 %）を行なっています。発電出力は基準ごみ2炉運転時で1,400 kwになります。

次に、煙突を建物と一体にすることで、ごみ処理施設には見えない周辺環境に配慮した外観デザインとしています。



写真3 施設見学の様子（ごみピット）

環境センターの施設見学

環境センターでは、普段見ることができないごみ処理の裏側を「施設ナビゲーター」の説明を聞きながら見学することができます。

見学ルートには、ごみ収集車のトリックアートやバーチャル炉内体験等、楽しく学べる仕掛けがたくさんあり、また通路幅や窓枠を広く設計しており、子どもが見学しやすいのが特徴です。

特に、人気の見学エリアは、ペットボトルのキャップ、ラベルを外す手選別やごみピットになります（写真3）。見学者は、新しくできた施設でありながら、ごみ処理の一部が手作業で行われていることや、ごみピットのごみの多さ、クレーンの破袋作業時にごみが落ちる衝撃音等に驚かれます。見学の最後には、見学で感じたことを付箋に書いてもらい、「現場の作業員の苦勞を知り、ごみの分別やごみの削減に取り組みたいと思った。」といった前向きな感想が多くあります。

※ 2023年（令和5年）度の見学受入状況：2,116人

多彩な環境学習

守山市環境学習都市宣言に謳われ、特

に力を入れている環境学習では、専門員である「環境コミュニケーター」を中心に、希望する方々のご要望に合わせた内容で環境学習を提供しています。具体的には、座学を中心とした講義形式の学習会や、本市の豊かな環境を自然体験から学ぶフィールドワーク、工作等を展開しており、その内容は、環境活動に取り組む企業や市民活動団体、行政機関等とも連携するなかで、多彩な学習メニューを提供しているところです。

特に、近年、環境問題として、地球温暖化や廃棄物問題のほか、生物多様性についての内容の環境学習の依頼が多く、市内小中学校だけでなく、市内自治会等でも環境学習を推進しています。

さいごに

施設見学や環境学習での体験をきっかけに、ごみや環境問題に関心をもち、日々の暮らしの中で、ごみの分別や減量等、自分のできることから始めてもらい、そのことが家族や友達、さらには市民全体に広がり、環境センターの安全・安定な運転や守山の豊かな環境を守ることに繋がればと考えています。